



おおゆストーン新聞

日に日に暑さが増し、夏の訪れを感じる季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。

さて7月といえば、夏の夜空で特に目立つ3つの明るい星、こと座のベガ(織姫)・わし座のアルタイル(彦星)・はくちょう座のデネブを結んだ「夏の大三角形」が見ごろになる季節です。織姫と彦星は有名な伝説ですが、実はもともと中国の物語で、

単なる恋愛物語ではありません。「自分の役目や責任を忘れてはならない」という教訓が込められており、七夕は「好きな人に会える日」とすると同時に「願いごとをしながら自分の目標に向かって努力する日」とも考えられてきたそうです。短冊に願いごとを書く習慣も、この物語が由来していたのですね。皆様も神話に想いを馳せながら、夏の夜空を眺めてみてはいかがでしょうか。

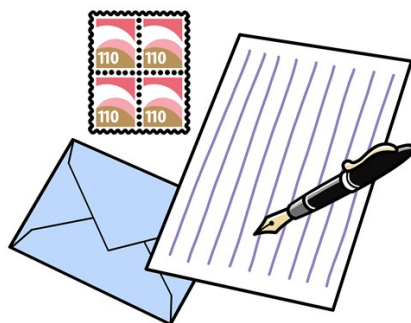


知っていますか? 7月の記念日

●7月23日は「文月ふみの日」です

1979年(昭和54年)に、郵政省(現:日本郵政)が郵便物の利用促進を目的として、「ふ(2)み(3)」の語呂合わせにちなんで毎月23日を「ふみの日」としました。7月は陰暦で「文月」(ふみづき)であることから、7月23日は特別に「文月ふみの日」とされています。

メールやSNSが主流の今だからこそ、久しぶりにペンを取ってみるのはいかがでしょうか。



■発行者: おおゆ石材

大正12年以来、津軽の皆さまとご一緒に歩んでまいりました。石やお墓のある、豊かな暮らしを、お手伝いしてまいります。



よこやま



みかみ



いしおか

弘前バイパス店 弘前市石川春仕内103-1
浪岡ステーション 青森市浪岡 浪岡細田1-2
ストーンマルシェ 平川市岩館山の井127-3
☎ 0120-63-1483 (有)大湯石材店

※仏事クイズの答え: ②

※まちがいさがしの答え: 1)織姫のスイカ 2)牛の舌 3)彦星の座っている台



～お墓・仏事の三ニ知識～



★救世(ぐぜ)に彩色(さいしき)に月光(がっこう)・・・呉音とは？

普通「変化」は「へんか」、「文書」は「ぶんしょ」と読みますが、仏教や古い文書では「へんげ」「もんじょ」と読むこともあります。こうした違いには、漢字の音読みの一つである「呉音(ごおん)」と「漢音(かんおん)」が関係しています。呉音は、漢音より古い時代に日本へ伝わった読み方で、仏教の経典や寺院の言葉に多く残りました。そのため、「救世(ぐぜ)」「月光(がっこう)」「利益(りやく)」のような仏教に関係する言葉や、「明星(みょうじょう)」のように、生活の中で定着した読み方も残っています。



仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



仏像にも見られる、お釈迦様の32の身体的な特徴を指す「三十二相」に無いものは次のうちどれでしょう？

- ① 全身が黄金色に輝いている
- ② 足が速い
- ③ 歯が40本ある



「三十二相」は主に外見的特徴を指します。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。